

## 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）

令和 3 年 6 月

東海村  
東海村地域公共交通会議

【添付資料】

■ 東海村地域公共交通会議 委員名簿

■ 表 1

地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者（地域内フィーダー系統）

（添付資料）運行予定系統を示した地図

（添付資料）運行ダイヤ

（添付資料）デマンドタクシー「あいのりくん」利用案内

■ 表 5

地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

（添付資料）交通不便地域の区分がわかる地図

令和 3 年 6 月〇〇日

(名称) 東海村地域公共交通会議

## 1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

本村では、平成 9 年 7 月から主に交通弱者を対象として（一般住民も利用可能）運賃無料の福祉循環バスの運行を開始した。しかし毎年度の改善策実施にも関わらず、利用者の増加にはつながらなかった。そのため平成 15 年度より福祉循環バスに代わる新たな公共交通の検討に着手し、運行範囲を村内、利用対象者を村民に限定したデマンドタクシーを導入し、試行運転を経て、平成 18 年 4 月から本格運行を開始した。

本村は東西、南北ともに約 8 km とほぼ円形に近く、その中央に JR 常磐線東海駅が立地しているなど、デマンド交通の運行に適した環境であり、一定の利用者数を確保し、特に高齢者や障がい者などの重要な移動手段となっている。一方で、村外への利用希望や、村外からのビジネス客や観光客への対応など、デマンドタクシーだけではカバーしきれない課題が挙げられた。加えて、福祉循環バスの運行開始前まで 7 路線が運行していた路線バスは、利用者数の減少により 5 路線が廃止され、残る 2 路線についても利用促進が必要な状況となっていた。

そのような状況を受け、本村では、誰もが利用できる路線バスの運行について、その可能性と利用者ニーズを的確に把握するため、住民・利用者へのアンケートや事業所へのヒヤリング調査を実施した。その結果を基に、平成 27 年 4 月から路線バス（4 路線）の実証実験を開始した。特に新設した 2 路線については、沿線住民に対する初乗りクーポン付きチラシの配布など積極的な利用促進を図ったが、利用者数の増加には結びつかなかった。

このような状況を踏まえ、地域公共交通会議で協議を重ねた結果、利用実績が厳しい 2 路線の実証実験を平成 27 年 9 月末で終了させた上で、同年 10 月から平成 28 年 3 月まで、新たな 2 路線を加えた 4 路線の実証実験を 6 か月延長することとした。

その後、地域公共交通会議において検討を重ね、平成 27 年 10 月から運行した 4 路線を平成 28 年 4 月から本格運行させた。本格運行後は、平成 28 年 10 月に利用率の低い 1 路線を廃止し、平成 30 年 4 月には、JR 常磐線東海駅西側を運行する新路線の実証実験及び、デマンドタクシーの運行時間を平日 30 分延長する実証実験を行う等、地域公共交通の整備・拡充を行ってきた。令和 3 年 4 月からは、利用者数が少ない JR 常磐線東海駅西側を運行する路線を廃止し、廃止路線分の一部便を別路線に振り替える等対応してきた。

本村としては、現在の状況を踏まえ、地域公共交通網の整備により、通勤・通学等における利便性の向上や、観光振興・交流人口の増加による地域の活性化も期待できること、「福祉」「教育」「環境」「まちづくり」の観点からも、公共交通の充実が「『まち』としてのイメージアップ」になるものと捉えている。

しかし、そこには採算性という大きな課題がある。そのため、持続可能な地域公共交通の維持・確保に努めるためにも、地域公共交通確保維持事業を活用したい。

## 2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

## (1) 事業の目標

## ・ 路線バス利用者数の増加

持続可能な地域公共交通とするには、一定の利用者数を確保することが必要となるため、令和元年度の利用者数を基準として利用促進を促す。

(目標値) 令和4年度：84,000人/令和5年度：85,000人/令和6年度：86,000人

## ・ 路線バスの運送収入の増加

持続可能な路線バスの運営を行うには、採算性の確保が必要であることから、利用者の運送収入の増加を目指す。

(目標値) 令和4年度：44.7% 令和5年度：45.1% 令和6年度：45.6%

## ・ デマンドタクシーの1台当たりの稼働率の増加

デマンドタクシーの継続的な運営のため、稼働率や利便性の向上による利用者層の拡大を目指す。

(目標値) 令和4年度：1.46人/台 令和5年度：1.47人/台 令和6年度：1.49人/台

## ・ デマンドタクシーの収益率増加

デマンドタクシーの持続的な運営を行うため、安定的に利用者からの利用料が入ることが必要であるため、利用料の増加を目指す。

(目標値) 令和4年度：18.0% 令和5年度：18.2% 令和6年度：18.4%

## ・ 高齢者のデマンドタクシー利用率の向上

高齢者が公共交通を利用することによる付加価値の創出として、生活の質の向上や楽しみ・生きがいにつながる利用を目指すため、高齢者のデマンドタクシーの利用割合の向上を目指す。

(目標値) 令和4年度：62% 令和5年度：63% 令和6年度：64%

## ・ デマンドタクシーによる東海駅の利用割合の増加

住民の外出機会を確保するため、村外への移動の拠点となる東海駅への利用者数の増加を目指す。

(目標値) 令和4年度：12% 令和5年度：13% 令和6年度：14%

## (2) 事業の効果

- ・ 地域公共交通確保維持事業の実施により、デマンドタクシー運行時間外においては、JR常磐線東海駅まで距離があり公共交通が空白となる地区を解消することができる。
- ・ 日常生活の移動手段を確保し、移動制約者の外出を支援することで健康で元気な高齢者を増やすことができる。
- ・ 隣接自治体等との更なる交流促進を図ることができる。
- ・ 観光客や原子力関係の研究者・技術者など、東海村に関わる全ての関係者に対して、村内の移動手段を提供できるよう、公共交通網の維持・確保につなげることができる。

### 3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

#### ・ 路線バスの運行

デマンドタクシーでは対応できない需要に対応するとともに、隣接自治体との連携により交流人口の増加を図る。

（実施主体）地域公共交通会議：東海村

路線バスの運行：交通事業者（茨城交通株式会社）

#### ・ デマンドタクシーの改善運行

路線バスとの役割分担と持続性の確保（公的負担の軽減）の観点から、必要な改善を実施する。また、増加する利用者からのキャンセル件数減少に向け、必要な対策を行う。

（実施主体）地域公共交通会議：東海村

デマンドタクシーの運行：交通事業者（東海駅構内ハイヤー組合）

#### ・ 利用促進方策

利用者数増加に向け広報・PR活動を積極的に実施する。公共交通マップの作成・配布，乗り方教室の開催，路線バスを利用したお出かけツアーの実施，中学3年生及び高校生への積極的な情報発信，広報紙での周知，各種団体や事業所との連携協力

（実施主体）地域公共交通会議：東海村

交通事業者によるPR活動：交通事業者（茨城交通株式会社，東海駅構内ハイヤー組合）

### 4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

別添の表1のとおり。

### 5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

東海村から運行事業者への補助金額については、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。

### 6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

利用者数や収支について、数値指標による評価を実施する

### 7. 別表1の補助対象事業の基準ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

#### 【地域間幹線系統のみ】

該当なし

8. 別表 1 の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 <b>【地域間幹線系統のみ】</b>
該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 <b>【地域間幹線系統のみ】</b>
該当なし
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 <b>【地域内フィーダー系統のみ】</b>
別添の表 5 のとおり
11. 車両の取得に係る目的・必要性 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
(1) 事業の目標
該当なし
(2) 事業の効果
該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） <b>【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
該当なし

## 15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性

**【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

該当なし

## 16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果

**【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

## (1) 事業の目標

該当なし

## (2) 事業の効果

該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 **【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

該当なし

## 18. 協議会の開催状況と主な議論

## 【平成 26 年度】

回	日時	協議事項
第 1 回	平成 26 年 6 月 25 日 14 : 00～15 : 30	( 1 ) 本村の地域公共交通の在り方に関する今後の計画 ( 2 ) 地域公共交通の調査・研究について ( 茨城大学 )
第 2 回	平成 26 年 10 月 2 日 15 : 00～16 : 30	( 1 ) 「日常の外出についてのアンケート」中間報告 ( 2 ) 今後のスケジュールについて
第 3 回	平成 26 年 11 月 10 日 15 : 00～16 : 30	( 1 ) 新たな公共交通の運行計画 ( 案 ) について
第 4 回	平成 26 年 12 月 15 日 15 : 30～17 : 00	( 1 ) 東海村における地域公共交通の考え方について ( 2 ) 今後のスケジュールについて ①改正地域公共交通活性化再生法に基づく法定協議会 への移行 ②地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施 計画の策定 ③新たな路線バスの運行
第 5 回	平成 27 年 1 月 23 日 15 : 30～17 : 00	( 1 ) 新たな路線バスの運行計画について
第 6 回	平成 27 年 2 月 17 日 15 : 30～17 : 00	( 1 ) 東海村地域公共交通網形成計画 ( 素案 ) について ( 2 ) 新たな路線バスの広報 PR について ( 3 ) デマンドタクシーの運行について
第 7 回	平成 27 年 3 月 26 日 15 : 30～17 : 00	( 1 ) 東海村地域公共交通網形成計画 ( 最終案 ) について ( 2 ) デマンドタクシーの平成 26 年度実績について ( 3 ) 今後のスケジュールについて

## 【平成 27 年度】

回	日時	協議事項
第 1 回	平成 27 年 6 月 25 日 10 : 00～11 : 30	( 1 ) 公共交通の利用状況について ( 2 ) 今後のスケジュールについて ( 3 ) 地域内フィーダー系統確保維持計画について
第 2 回	平成 27 年 8 月 5 日 15 : 00～16 : 00	( 1 ) 公共交通の利用状況について ( 2 ) 路線バスの実証実験について
第 3 回	平成 27 年 12 月 9 日 16 : 00～17 : 00	( 1 ) 公共交通の利用状況について ( 2 ) アンケート及びヒアリング調査の報告について ( 茨 城大学 ) ( 3 ) 公共交通再編の方向性について ( 4 ) デマンドタクシーの運行について
第 4 回	平成 28 年 1 月 28 日 15 : 30～17 : 00	( 1 ) 地域公共交通の再編について ( 2 ) 今後のスケジュールについて
第 5 回	平成 28 年 3 月 25 日 10 : 00～11 : 30	( 1 ) 公共交通の利用状況について ( 2 ) アンケート及び乗り込み調査の報告について ( 茨 城大学 ) ( 3 ) 今後のスケジュールについて 駅西地区東海駅前広場再整備及び自転車レーン整 備計画について



## 【平成 28 年度】

回	日時	協議事項
第 1 回	平成 28 年 6 月 24 日 9 : 30 ~ 11 : 00	(1) 公共交通の利用状況について (2) アンケート及び乗り込み調査の報告について (茨城大学) (3) 地域内フィーダー系統確保維持計画について
第 2 回	平成 28 年 8 月 30 日 14 : 30 ~ 16 : 00	(1) 公共交通の利用状況について (2) 路線バスのダイヤ等改正について (平成 28 年 10 月 1 日) (3) 今後のスケジュールについて
第 3 回	平成 29 年 3 月 24 日 13 : 30 ~ 15 : 00	(1) 公共交通の利用状況について (2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について (地域内フィーダー系統確保維持計画) (3) 今後のスケジュールについて

## 【平成 29 年度】

回	日時	協議事項
第 1 回	平成 29 年 8 月 30 日 15 : 00 ~ 16 : 30	(1) 公共交通の利用状況について (2) 地域内フィーダー系統確保維持計画について (3) 公共交通の課題について (4) 今後のスケジュールについて
第 2 回	平成 29 年 12 月 26 日 13 : 00 ~ 15 : 00	(1) みちのりグループの地域公共交通活性化 (バス事業の生産性向上) の取組み (株式会社みちのりホールディングス) (2) 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価について (地域内フィーダー系統確保維持計画) (3) 公共交通再編の方向性について
第 3 回	平成 30 年 1 月 29 日 15 : 00 ~ 16 : 30	(1) 公共交通の利用状況について (南台区自治会の取組みについて) (2) 平成 30 年 4 月の公共交通網再編について (3) 今後のスケジュールについて (4) 高校生に対するリーフレットの配布計画 (案) について (5) その他
第 4 回	平成 30 年 3 月 22 日 13 : 30 ~ 15 : 00	(1) 公共交通の利用状況及び利用傾向の分析について (2) デマンドタクシーや路線バスの利活用に関する意見交換 (3) 今後のスケジュールについて (4) その他

## 【平成 30 年度】

回	日時	協議事項
第 1 回	平成 30 年 6 月 28 日 10 : 30 ~ 11 : 30	(1) 公共交通の利用状況について (2) 地域内フィーダー系統確保維持計画について (3) 平成 30 年度の状況及び今後のスケジュール (4) その他
第 2 回	平成 31 年 1 月 29 日 10 : 30 ~ 11 : 30	(1) 公共交通の利用状況について (2) 平成 30 年度地域公共交通確保維持改善事業 (フィーダー) 一時評価について (3) 今後のスケジュールについて (4) その他

## 【令和元年度】

回	日時	協議事項
第1回	令和元年6月26日 13:30~15:00	(1) 公共交通の利用状況について (2) 地域内フィーダー系統確保維持計画について (3) 令和元年度の状況及び今後のスケジュール (4) 南台区アンケート集計報告について (5) その他
第2回	令和元年11月20日 13:30~15:00	(1) 東海村の公共交通施策と近年の利用状況について (2) これからの公共交通について（グループディスカッション） (3) その他

## 【令和2年度】

回	日時	協議事項
第1回	令和2年7月22日 （書面開催）	(1) 地域内フィーダー系統確保維持計画について (2) 公共交通計画について (3) 令和2年度の状況及び今後のスケジュール
第2回	令和2年10月19日 13:30~15:00	(1) 令和2年度の公共交通の利用状況について (2) 2020年度ひたち圏域 MaaS 実証に関する商品造成について【茨城交通株式会社】 (3) 東海村地域公共交通計画について（計画概要説明, グループワーク）
第3回	令和3年1月21日 （書面開催）	(1) 令和2年度の公共交通の利用状況について (2) 路線バスの新規バス停設置等について (3) 令和2年度地域内フィーダー系統確保維持計画の評価について (4) 東海村地域公共交通計画（案）について（計画素案説明）

## 【令和3年度】

回	日時	協議事項
第1回	令和3年6月24日 10:00~11:00	(1) 公共交通の利用状況について (2) 地域内フィーダー系統確保維持計画について (3) 令和3年度の状況及び今後のスケジュール (4) その他

## 19. 利用者等の意見の反映状況

本計画は、東海村地域公共交通会議での承認を得ているものであり、会議には、関係機関や住民の代表も参加している。そのため、これまでも、路線変更やダイヤ改正等の利用者の意見を会議で議論し、東海村の地域公共交通の充実を図っている。

## 【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）茨城県那珂郡東海村東海三丁目7番1号

（所 属）企画総務部 企画経営課

（氏 名）青木 安己帆

（電 話）029-282-1711（内線1337）

（e-mail）kikaku@vill.tokai.lg.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。（ただし、上記２．・３．については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります）。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

## 東海村地域公共交通会議 委員名簿

【委嘱期間: ~令和3年6月30日】

順不同, 敬称略

No	氏 名	所屬・役職	備考
1	任田 正史	茨城交通株式会社 代表取締役社長	
2	舩井 辰也	東海駅構内ハイヤー組合代表(有限会社 常東タクシー 代表取締役)	
3	川上 敬一	茨城県バス協会 専務理事	
4	服部 透	茨城県ハイヤー・タクシー協会 専務理事	
5	富永 健二	緑ヶ丘区自治会長	
6	萩谷 毅彦	東海村民生委員・児童委員協議会 会長	
7	宮部 芳典	東海村高齢者クラブ連合会 会長	
8	岸 三男	東海村身体障害者福祉協議会 会長	副会長
9	佐藤 映史	東海村商工会 会長	
10	川崎 敏秀	東海村観光協会 会長	
11	相巢 博之	東海村社会福祉協議会 事務局長	
12	牧瀬 成博	茨城運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送担当)	
13	鈴木 裕一	茨城運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	
14	近清 重尚	東海村デマンドタクシー運転手代表(有限会社 常東タクシー)	
15	菅原 康弘	茨城交通労働組合 執行委員長	
16	石川 和洋	ひたちなか警察署 交通課長	新任
17	中村 浩	茨城県 政策企画部 交通政策課長	
18	松丸 哲也	茨城県 常陸大宮土木事務所 道路管理課長	
19	山田 稔	茨城大学 工学部都市システム工学科 教授	
20	萩谷 浩康	東海村 副村長	会長
21	関田 秀茂	東海村 福祉部長	
22	庄司 真澄	東海村教育委員会 教育部長	
23	松本 敏雄	公募委員	
24	河野 進	公募委員	副会長

### 【関係自治体(オブザーバー)】

No	自治体名	担当部署	備考
1	日立市	都市建設部 都市政策課	
2	ひたちなか市	企画部 企画調整課	
3	那珂市	企画部 政策企画課	

### 【事務局】

No	氏 名	役 職	備考
1	富田 浩文	企画総務部長	
2	菊池 敬	企画総務部 企画経営課長	
3	石井 克明	企画総務部 企画経営課長補佐	
4	所 壮登	企画総務部 企画経営課 企画調整担当 係長	
5	日向 亜衣	企画総務部 企画経営課 企画調整担当 主任	
6	青木 安己帆	企画総務部 企画経営課 企画調整担当 主事	

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和4年度

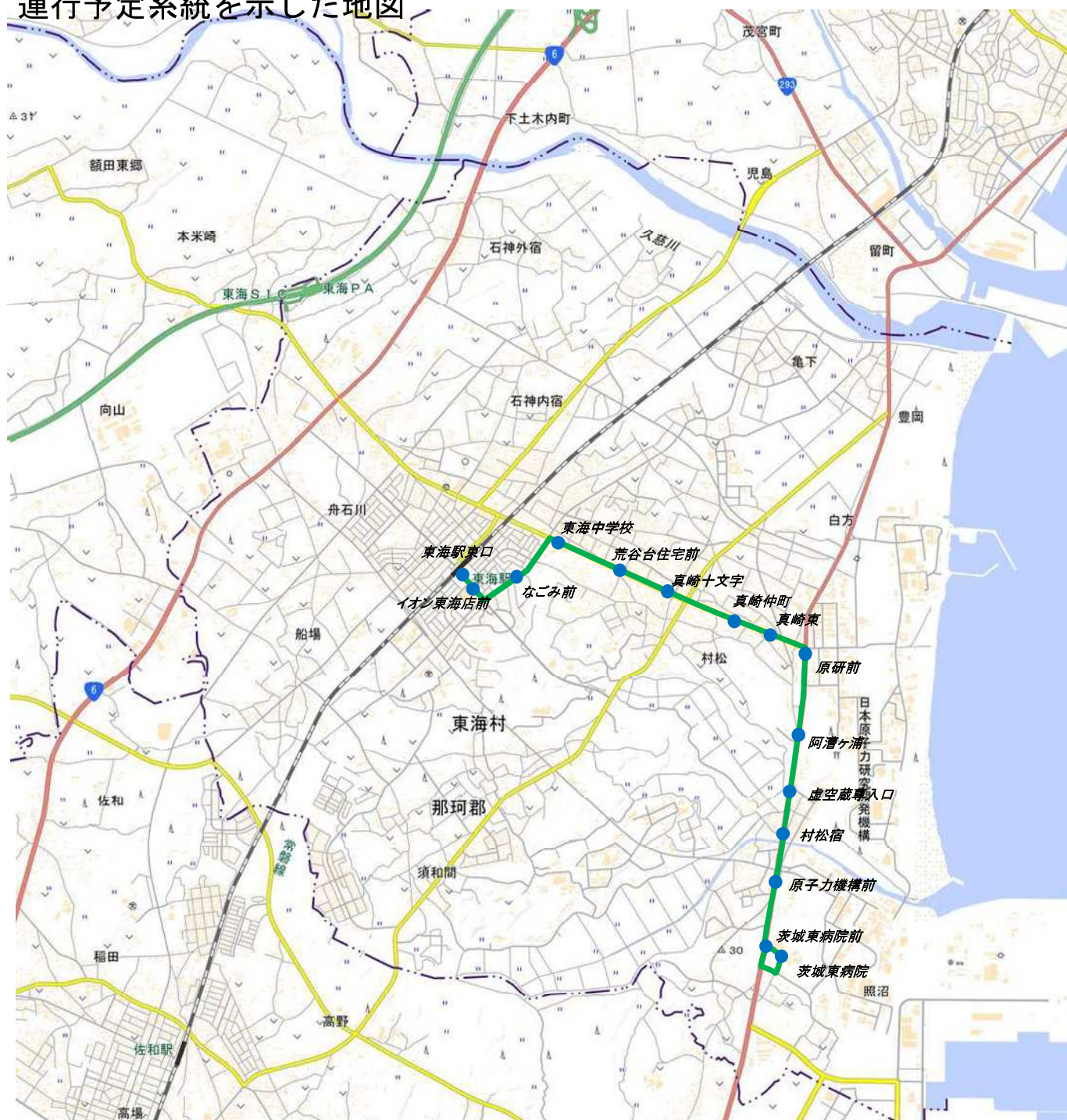
市区町村	運行予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利便 増進 特例 措置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地	終点					運行態様の 別	基準ハで 該当する 要件	補助対象地域間幹 線系統等と接続の 確保	基準ホで該 当する要件 (別表7のみ)
東海村	茨城交通株式会社	(1) 東海駅東口 ～茨城東病院	東海 駅東 口	原研 前	茨城 東病 院	往 5.9km 復 5.9km	365日	2,510		路線定期運行	②(2)	鉄道駅に接続	
		(2)				往 km 復 km	日	回					
		(3)				往 km 復 km	日	回					
		(4)				往 km 復 km	日	回					
		(5)				往 km 復 km	日	回					

(注)

1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特例措置」については、地域公共交通利便増進計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載すること。
5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。



## 運行予定系統を示した地図



茨城交通株式会社 東海駅東口～茨城東病院線

# デマンド運行時間と路線バスのダイヤ

## ■東海駅東口～茨城東病院線 斜体青文字土日祝運休

別系統(東海駅東口～海浜公園西口)

デマンドタクシー運行時間(平日8:00～17:00/土曜8:00～16:00)

平日対象便	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●
土曜対象便	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	●	●	●	×
日曜・祝日対象便	×	×	×	●	×	●	×	×	×	●	●	×	×	●	●	●	×

1	東海駅東口(発)	6:55	7:11	7:45	8:00	8:30	9:06	9:57	12:07	13:52	15:41	16:31	17:05	17:11	17:57	19:00	19:45	20:34
2	イオン東海店前	6:55	7:11	7:45	8:00	8:30	9:06	9:57	12:07	13:52	15:41	16:31	17:05	17:11	17:57	19:00	19:45	20:34
3	なごみ入口	6:57	7:13	7:46	8:01	8:31	9:08	9:59	12:09	13:54	15:43	16:33	17:07	17:13	17:58	19:02	19:46	20:35
4	東海中学校	6:59	7:15	7:48	8:03	8:33	9:10	10:01	12:11	13:56	15:45	16:35	17:09	17:15	18:00	19:04	19:48	20:37
5	荒谷台住宅前	7:00	7:16	7:49	8:04	8:34	9:11	10:02	12:12	13:57	15:46	16:36	17:10	17:16	18:01	19:05	19:49	20:38
6	真崎十文字	7:00	7:16	7:49	8:04	8:34	9:11	10:02	12:12	13:57	15:46	16:36	17:10	17:16	18:01	19:05	19:49	20:38
7	真崎仲町	7:01	7:17	7:50	8:05	8:35	9:12	10:03	12:13	13:58	15:47	16:37	17:11	17:17	18:02	19:06	19:50	20:39
8	真崎東	7:02	7:18	7:51	8:06	8:36	9:13	10:04	12:14	13:59	15:48	16:38	17:12	17:18	18:03	19:07	19:51	20:40
9	原研前	7:04	7:20	7:53	8:08	8:38	9:15	10:06	12:16	14:01	15:50	16:40	17:14	17:20	18:05	19:09	19:53	20:42
10	阿漕ヶ浦	7:04	7:20	7:53	8:08	8:38	9:15	10:06	12:16	14:01	15:50	16:40	17:14	17:20	18:05	19:09	19:53	20:42
11	虚空蔵尊入口	7:05	7:21	7:54	8:09	8:39	9:16	10:07	12:17	14:02	15:51	16:41	17:15	17:21	18:06	19:10	19:54	20:43
12	(新設)虚空蔵尊前	-	-	7:55	-	-	-	10:09	12:19	14:04	-	-	17:17	-	-	-	-	-
13	村松宿	7:06	7:22	-	8:10	8:40	9:17	-	-	-	15:52	16:42	-	17:22	18:07	19:11	19:55	20:44
14	原子力機構前	7:07	7:23	7:58	8:11	8:41	9:18	10:11	12:21	14:06	15:53	16:43	17:19	17:23	18:08	19:12	19:56	20:45
15	茨城東病院前	7:08	7:24	7:59	8:12	8:42	9:19	10:12	12:22	14:07	15:54	16:44	17:20	17:24	18:09	19:13	19:57	20:46
16	茨城東病院	7:09	7:26	8:01	8:13	8:45	9:20	10:13	12:23	14:08	15:55	16:45	17:21	17:26	18:12	19:14	19:59	20:48
17	JA長砂	-	-	-	-	-	-	10:17	12:27	14:12	-	-	17:25	-	-	-	-	-
18	ジョイフル本田西	-	-	-	-	-	-	10:21	12:31	14:16	-	-	17:29	-	-	-	-	-
19	ジョイフル本田東	-	-	-	-	-	-	10:21	12:31	14:16	-	-	17:29	-	-	-	-	-
20	海浜公園西口	-	-	-	-	-	-	10:25	12:35	14:20	-	-	17:35	-	-	-	-	-

20	海浜公園西口(発)	-	-	-	-	-	-	10:38	12:40	14:28	-	-	-	17:38	-	-	-	-
19	ジョイフル本田東	-	-	-	-	-	-	10:39	12:41	14:29	-	-	-	17:39	-	-	-	-
18	ジョイフル本田西	-	-	-	-	-	-	10:39	12:41	14:29	-	-	-	17:39	-	-	-	-
17	JA長砂	-	-	-	-	-	-	10:43	12:45	14:33	-	-	-	17:43	-	-	-	-
16	茨城東病院	6:33	7:13	7:33	8:10	8:30	9:10	9:40	10:47	12:49	14:37	16:00	16:50	17:35	17:47	18:25	19:25	20:03
15	茨城東病院前	6:34	7:14	7:34	8:11	8:31	9:11	9:41	10:48	12:50	14:38	16:01	16:51	17:36	17:48	18:26	19:26	20:04
14	原子力機構前	6:35	7:15	7:35	8:12	8:32	9:12	9:42	10:49	12:51	14:39	16:02	16:52	17:37	17:49	18:27	19:27	20:05
13	村松宿	6:36	7:16	7:36	8:13	8:33	9:13	9:43	-	-	-	16:03	16:53	17:38	-	18:28	19:28	20:06
12	(新設)虚空蔵尊前	-	-	-	-	-	-	10:51	12:53	14:41	-	-	-	17:51	-	-	-	-
11	虚空蔵尊入口	6:37	7:17	7:37	8:14	8:34	9:14	9:44	10:53	12:55	14:43	16:04	16:54	17:39	17:53	18:29	19:29	20:07
10	阿漕ヶ浦	6:37	7:17	7:37	8:14	8:34	9:14	9:44	10:53	12:55	14:43	16:04	16:54	17:39	17:53	18:29	19:29	20:07
9	原研前	6:39	7:19	7:39	8:16	8:36	9:16	9:46	10:55	12:57	14:45	16:06	16:56	17:41	17:55	18:31	19:31	20:09
8	真崎東	6:39	7:19	7:39	8:16	8:36	9:16	9:46	10:55	12:57	14:45	16:06	16:56	17:41	17:55	18:31	19:31	20:09
7	真崎仲町	6:40	7:20	7:40	8:17	8:37	9:17	9:47	10:56	12:58	14:46	16:07	16:57	17:42	17:56	18:32	19:32	20:10
6	真崎十文字	6:41	7:21	7:41	8:18	8:38	9:18	9:48	10:57	12:59	14:47	16:08	16:58	17:43	17:57	18:33	19:33	20:11
5	荒谷台住宅前	6:41	7:21	7:41	8:18	8:38	9:18	9:48	10:57	12:59	14:47	16:08	16:58	17:43	17:57	18:35	19:33	20:11
4	東海中学校	6:43	7:23	7:43	8:20	8:40	9:20	9:50	10:59	13:01	14:49	16:10	17:00	17:45	17:59	18:36	19:35	20:13
3	なごみ入口	6:44	7:24	7:44	8:21	8:41	9:21	9:51	11:00	13:02	14:50	16:11	17:01	17:46	18:00	18:37	19:36	20:14
2	イオン東海店前	6:45	7:25	7:45	8:22	8:42	9:22	9:52	11:01	13:03	14:51	16:12	17:02	17:47	18:01	18:40	19:37	20:15
1	東海駅東口	6:47	7:28	7:48	8:25	8:45	9:24	9:54	11:06	13:08	14:56	16:14	17:04	17:50	18:08	18:45	19:39	20:17

平日対象便	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	●	●
土曜対象便	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	●	●	×
日曜・祝日対象便	×	●	×	×	●	×	●	×	×	×	×	●	●	×	×	●	●	×

# デマンドタクシー「あいのりくん」



「あいのりくん」は、乗り合いタクシー方式による送迎サービスです。  
東海村に住民登録のある方であれば、どなたでもご利用いただけます。  
運行範囲は村内で、ご自宅や指定場所から目的地まで、ドアtoドアで送迎します！

## まずは事前登録！

東海村役場（１階：福祉総務課，高齢福祉課，３階：企画経営課），総合福祉センター「絆」，なごみ総合支援センター備え付けの「利用登録票」に必要事項を記入の上，上記窓口へ提出してください。なお，「利用登録票」は，村公式ホームページ（「あいのりくん」で検索）からもダウンロードできます。

※事前登録から10日前後で，利用案内と登録票を郵送します。

## 「あいのりくん」の運行日時はこちら！

### 【運行日】

月～土曜日（祝日，12/29～1/3を除く）

### 【時間】

月～金曜日 8:00～17:00（土曜日は16:00まで）／30分間隔で運行

午 前	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	-	-	-
午 後	0:00	0:30	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30*	5:00*

### 【利用料金】

（＊土曜日は運休）

1回300円／人

※ただし，身体障がい者，精神障がい者，知的障がい者，要介護認定者，未就学児（保護者同伴）は，1回100円／人となります。

## 予約してみよう！（予約から利用までの流れは裏面参照）

利用希望日時の2営業日前から30分前までに，東海村デマンドタクシー情報センターへ申し込みください（車イスをご利用の方は1週間前から予約可能です）。

### 【受付時間】

7:15～16:30

（土曜日は15:30まで）

電話：029-306-2828

FAX（聴覚障がい者専用）：029-287-1919

## 使うときは次のことに注意してください！

▼複数の利用者と乗り合わせでの利用となるため，お迎えの時間が多少前後することがあります。（予約した便の前後10分間程度）時間に余裕をもってご利用ください。

▼相乗りができなくなってしまうような大きな荷物を持ってのご利用はできません。

▼一人でも多くの方にご利用いただくためにキャンセルの連絡はお早めにお願いします。

キャンセルするときは

キャンセル専用電話：029-287-1919

## 問い合わせ

東海村社会福祉協議会（029-283-4538）／東海村企画経営課（029-282-1711）



表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	東海村
-------	-----

(単位:人)

	人 口
人口集中地区以外	-
交通不便地域等	10,327

交通不便地域等の内訳

人 口	対象地区	根拠法
10,327	外宿1, 外宿2, 内宿1, 内宿2, 竹瓦, 豊岡, 亀下, 白方, 岡, 豊白, 真崎, 村松北, 宿, 川根, 照沼, 原子力機構箕輪	局長指定

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び  
特例適用開始年度

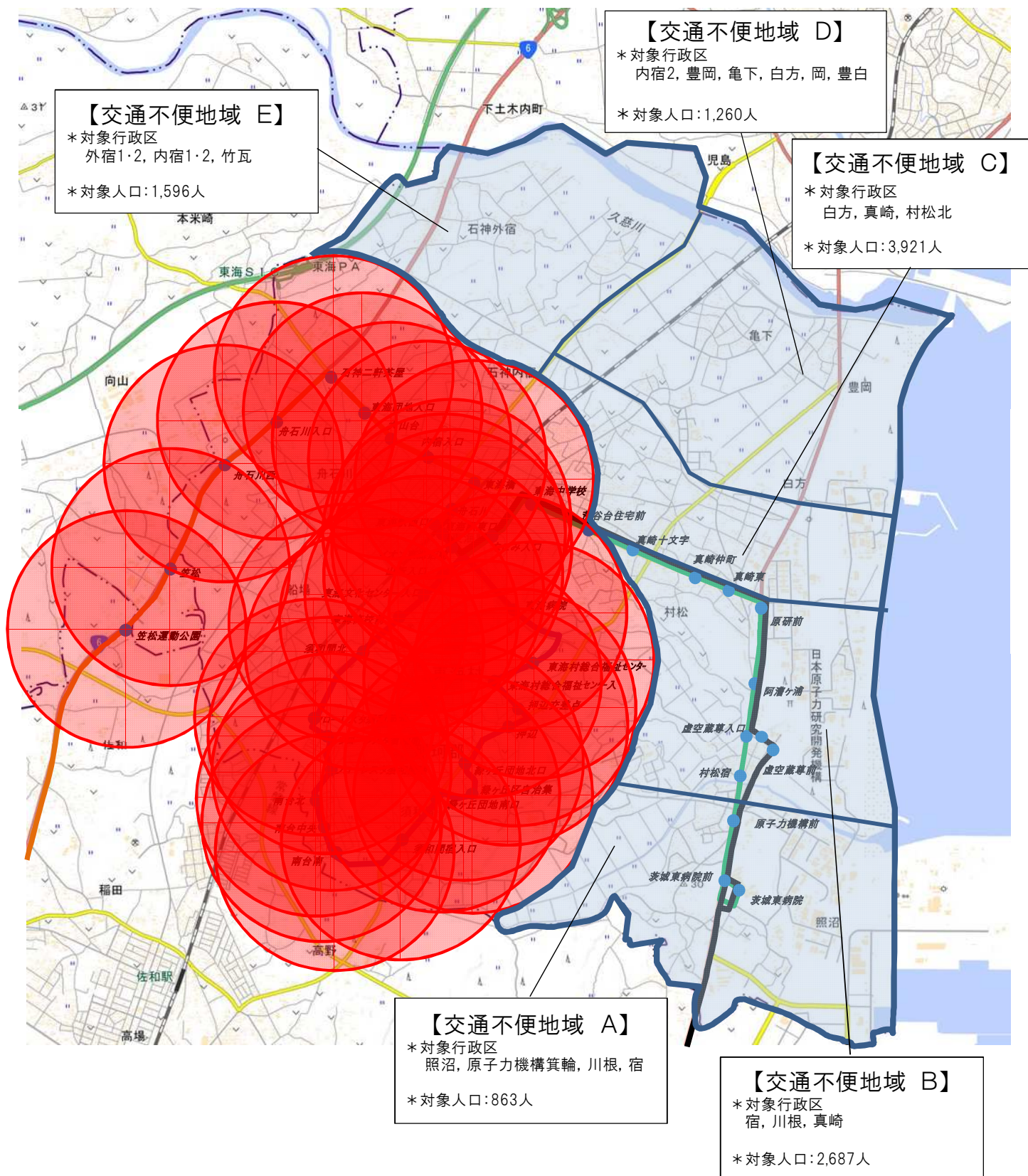
計画名	策定年月日	特例適用開始年度
東海村地域公共交通計画	令和3年3月	-

(1)記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域等」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(以下、「交付要綱」という。)の別表7(ハ②(1))に記載のある過疎地域の人口、交付要綱別表7(ハ②(2)(実施要領の2.(1)⑪))に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口及び交付要綱別表7リに基づき地方運輸局長等が認める地域の合計
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が交付要綱別表7(ハ②(1))に掲げる法律(根拠法)に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域等が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。また、乗用タクシー以外での輸送が著しく困難であるものとして地方運輸局長等が認めた場合は、「局長指定(乗用)」と記載すること。
6. 「特例適用開始年度」の欄は、地域公共交通利便増進実施計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画を策定し、利便増進特例又は運送継続特例を適用する場合に記載すること。

(2)添付書類

1. 「人口集中地区以外の地区」及び「交通不便地域等」の区分が分かる地図を添付すること。  
(ただし、全域が交通不便地域等となる場合には省略可)



※対象人口については、住民基本台帳の情報を地図上に落とし込み、対象地域を選択して把握した数値となっている。

## 東海村地域公共交通計画

### 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に関する記載箇所一覧表

１．地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の地域の公共交通における位置づけ・役割
東海村地域公共交通計画 １７ページ
２．前号を踏まえた地域公共交通確保維持事業の必要性
東海村地域公共交通計画 ８ページ
３．地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統に係る事業及び実施主体の概要
東海村地域公共交通計画 １０ページ～１１ページ
４．地域公共交通計画の区域内全体における地域旅客運送サービスの利用者の数、収支、費用に係る国又は地方公共団体の支出の額その他の定量的な目標・効果及びその評価手法
東海村地域公共交通計画 １１ページ～１２ページ

（添付資料）

- ・上記記載の地域公共交通計画の該当ページ（写し）

#### ※ご参考

- ・要綱第１７条第１項

陸上交通（地域内フィーダー系統）に係る地域公共交通確保維持事業（以下この条において単に「地域公共交通確保維持事業」という。）を行う場合は、地域公共交通計画に、当該地域公共交通計画の計画期間内における次に掲げる事項について具体的に記載するものとする。

- 一 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の地域の公共交通における位置づけ・役割
- 二 前号を踏まえた地域公共交通確保維持事業の必要性
- 三 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統に係る事業及び実施主体の概要
- 四 地域公共交通計画の区域内全体における地域旅客運送サービスの利用者の数、収支、費用に係る国又は地方公共団体の支出の額その他の定量的な目標・効果及びその評価手法

## 4 地域旅客運送サービス等における課題

### (1) 地域の現状に関する課題

#### ① 地域の担い手や交通インフラの不足

高齢化や人口減少により、地域コミュニティの担い手不足や交通インフラが不足することが想定される。

#### ② 移動に対する不安を感じている高齢者が多い

高齢者の自立した生活に「移送サービス」の充実が必要とされ、現在の地域公共交通や公助交通よりも利便性の高い移動手段が求められている。

### (2) 地域旅客運送サービスにおける課題

#### ① 自家用車での通勤者が多いことによる通勤時間帯の交通渋滞

自家用車での通勤が多いことや、原子力関連事業所が太平洋側に集約されていることで、路線バス運行道路に渋滞が発生し、路線バスの定時性に影響を与えることが想定されることから、私的交通と公共交通、公助交通を組み合わせる利用することができる交通環境の整備が必要とされている。

#### ② 公共交通・公助交通の運行効率の改善

路線バスやデマンドタクシーは、近年利用者数が減少傾向にあることから、今後の継続的な運行のために、利用者数の確保や利用率の向上が必要とされる。

#### ③ デマンドタクシーの予約混雑化

デマンドタクシーは、特定の年代の利用が多い傾向にあることから、一定の時間帯に利用者が集中し、予約が取りにくい状況が発生するため、デマンドタクシーの稼働率や利便性の向上を図っていく必要がある。

#### ④ 共助交通による移動が地域に浸透していない

共助交通は、公共交通・公助交通でカバーできない部分の移動を補っており、地域において自家用車が運転できないことによる不安を解消する手段の一つであるが、ドライバーの高齢化による担い手不足など、安定的な運営に課題がある。

## ② 基本目標

### 基本目標Ⅰ 地域の特性に適応した持続可能な地域公共交通の充実

本村の地域公共交通を利用するすべての人が、快適に利用でき、JR 東海駅周辺を中心としたまちづくりと連携した地域公共交通を充実させる。

(主な施策)

- 路線バスの継続した運行支援と利用促進
- 地域内フィーダー系統確保維持計画の申請
- 路線バス運行経費補助金の支給
- デマンドタクシーの効率的な運営【デマンドタクシー業務委託】
- デマンドタクシーの Web 予約システム導入
- 地域住民と連携した利便性の向上
- 近隣自治体と連携したノーマイカーの促進

### 基本目標Ⅱ 他分野と連携した公共交通による付加価値の創出

地域公共交通を利用することによる付加価値を創出するため、公共交通に関連する他分野（都市整備、環境、福祉）と緊密に連携し、生活の質の向上及び楽しみや生きがいにつながる手段とする。

(主な施策)

- 公共交通・公助交通の利用ツアーの開催
- 村内イベントとタイアップによる公共交通の PR 実施
- 免許返納者に対するデマンドタクシーチケット・いばっぴの送付【東海村高齢者運転免許証自主返納支援事業】

### 基本目標Ⅲ 人々の交流や社会参加につながる移動手段の拡充

地域の人と人との関わりを深め、地域の交流や社会参加を促進し、地域コミュニティの活性化につながる公共交通を目指すため、行政と地域が連携し、地域の輸送資源を活用した移動手段を推進する。

(主な施策)

- 地域公共交通ワークショップの開催
- 公助交通の情報発信



## (2) 数値目標

基本目標を達成するため、下記のとおり取り組みの数値目標を定める。

### 基本目標Ⅰ 地域の特性に適応した持続可能な地域公共交通の充実

項目	内容	基準値	目標値	実施主体
路線バスの利用者数の増加	・ 路線バスの持続的な運営を行うため、路線バスの利用者の増加を目指していく。	78,408 人/年 (令和元年度)	87,000 人/年 (令和7年度)	交通事業者 (茨城交通(株))
路線バスの運送収入の増加	・ 路線バスの持続的な運営を行うためには、利用者からの運送収入の増加が必要であるため、収入に占める運賃収入の割合を増加させる。	43.3% (令和元年度)	46% (令和7年度)	交通事業者 (茨城交通(株))
デマンドタクシーの1台あたりの稼働率の増加	・ デマンドタクシーの継続的な運営のため、稼働率や利便性の向上による利用者層の拡大を目指していく。	1.43 人/台 (令和元年度)	1.51 人/台 (令和7年度)	運行事業者 (タクシー組合) 東海村
デマンドタクシーの収益率増加	・ デマンドタクシーの持続的な運営を行うために、安定的に利用者からの利用料が入ることが必要であるため、利用料から得る収益を増加させる。	17.4% (令和元年度)	18.6% (令和7年度)	運行事業者 (タクシー組合) 東海村
デマンドタクシーのWeb 予約者数増加	・ デマンドタクシーの予約をデジタル化し、予約時間の集中や予約キャンセル等、予約に関する課題解決を目指し、利用者の利便性を高める。	—	15% (令和7年度)	東海村

### 基本目標Ⅱ 他分野と連携した公共交通による付加価値の創出

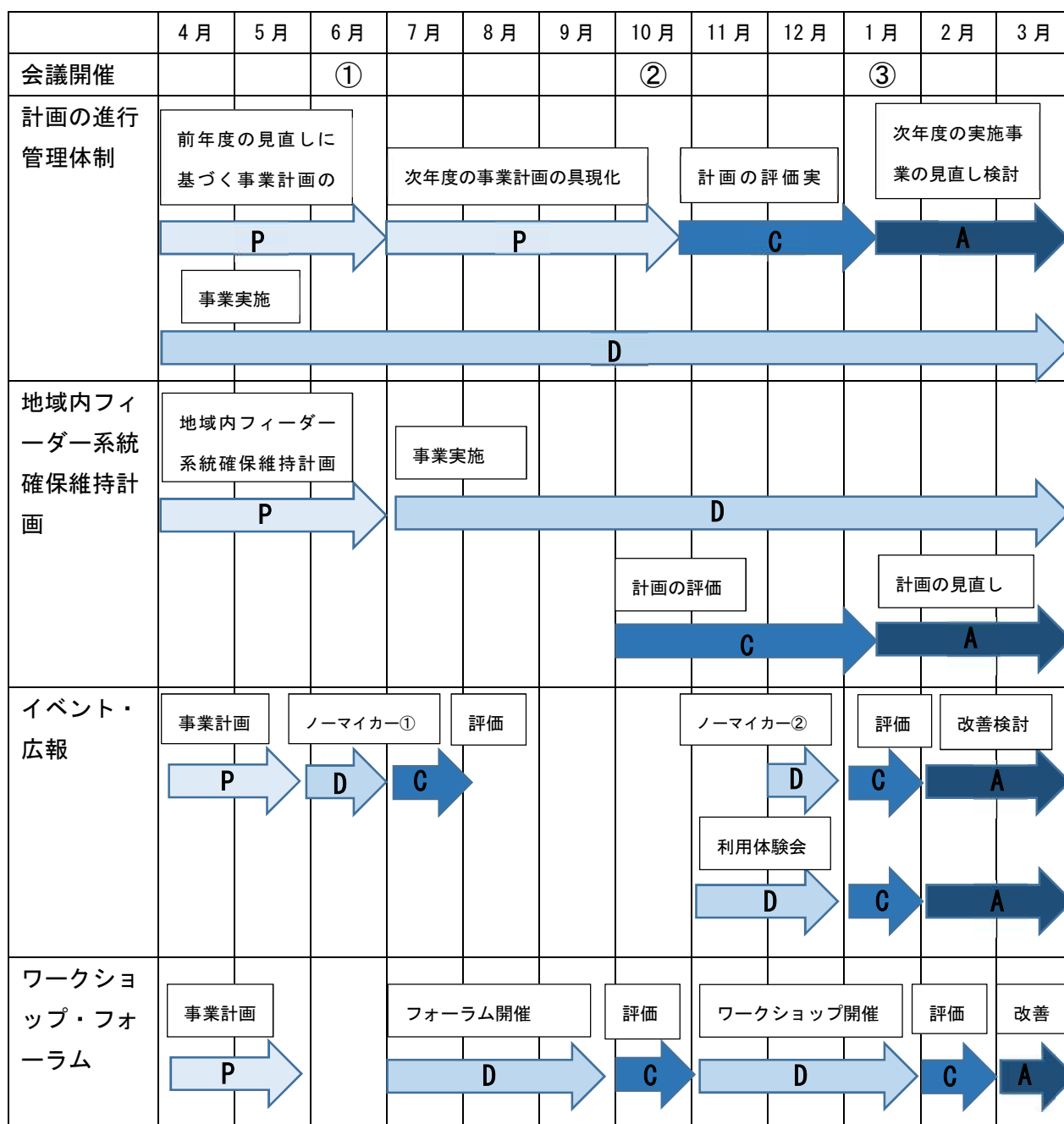
項目	内容	基準値	目標値	実施主体
高齢者のデマンドタクシーの利用率の向上	・ デマンドタクシー利用者における70歳以上の高齢者の割合を増加させるため、デマンドタクシーの利用促進やシステム改修を行う。	58.3% (令和元年度)	65% (令和7年度)	運行事業者 (タクシー組合) 東海村
デマンドタクシーによるJR 東海駅の利用割合の増加	・ 住民の外出機会を確保するため、村外への移動の拠点となる東海駅への利用者数を増加させる。	10% (令和元年度)	15% (令和7年度)	運行事業者 (タクシー組合) 東海村
公助交通の利用体験会の開催	・ 移動に対する不安を払拭させるため、実際に公助交通を利用してもらう機会をつくり、公助交通の利用促進につなげる。	1 回/年 (令和元年度)	1 回以上/年 (令和7年度)	運行事業者 (茨城交通(株)、 タクシー組合) 東海村

### 基本目標Ⅲ 人々の交流や社会参加につながる移動手段の拡充

項目	内容	基準値	目標値	実施主体
地域公共交通のワークショップ開催	・ 地域内で地域公共交通の在り方を考えることで、地域のつながりを深め、将来の移動に対する不安を減少することを目指す。	0 回/年 (令和元年度)	1 回/年 (令和7年度)	東海村

## 6 計画の達成状況の評価

本計画は、東海村地域公共交通会議においてPDCAサイクルで進行管理を行い、法制度の改正や社会・経済情勢の変化、住民の意向などを踏まえて、5年を目途に見直しを行う他、必要に応じて適宜見直しを行う。





### (3) 路線バスの状況（令和3年3月現在）

路線	状況
①茨城東病院線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東海駅東口と茨城東病院を結ぶ路線であり、平日 13 本、土日祝日 7 本運行している。（片道 6 km/15 分）</li> <li>・ 主な乗降バス停は、「原子力機構前」や「原研前」であり、原子力関係事業者の通勤手段として利用されている。</li> <li>・ 村で補助を出している 4 路線のうち、一番利用の多い路線となっている。</li> <li>・ 交通不便地域を運行する路線でもあり、国からの補助（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）を受けている。</li> </ul>
②海浜公園西口線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東海駅東口から国営ひたち海浜公園を結ぶ路線であり、平日、土日祝日共に 8 本運行している。（片道 10.8 km/30 分）</li> <li>・ 経路としては、「茨城東病院線」と同じであり、茨城東病院からひたちなか市へ向かう路線。</li> <li>・ 主な乗降バス停は、「東海駅東口」「茨城東病院」「原研前」となっており、茨城東病院への移動手段や原子力関係事業所への移動手段として利用されている。</li> <li>・ 村で補助を出している 4 路線のうち唯一村外まで移動できる路線である。</li> </ul>
③フローレスタ須和間・南台・緑ヶ丘循環線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東海駅東口と須和間にある住宅団地（フローレスタ須和間・南台団地・緑ヶ丘団地）を結ぶ路線であり、右回り、左回りに循環する。（片道 8.5 km/20 分）</li> <li>・ 右回り（東海駅東口→村立東海病院）平日 8 本、土日祝日 5 本</li> <li>・ 左回り（東海駅東口→フローレスタ須和間）平日 9 本、土日祝日 5 本</li> <li>・ 主な乗降バス停は、「東海駅東口」「イオン東海店前」であり、地域住民の駅への移動やスーパーマーケットへの移動手段として利用されている。</li> </ul>
④笠松運動公園循環線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東海駅東口から笠松運動公園までを結ぶ路線であり、平日のみで 1 日 10 本（令和 3 年 3 月現在 8 本運休）で運行している。（片道 9.8 km/25 分）</li> <li>・ 村で補助を出している路線のうち、唯一常磐線の西側を運行する路線であり、一番新しくできた路線である。</li> <li>・ 村の補助路線の中では一番利用者が少なく、補助割合が高い路線である。</li> <li>・ 主な乗降バス停は、「東海駅東口」「笠松運動公園テニスコート前」「笠松運動公園陸上競技場」であり、東海駅から笠松運動公園までの移動に利用されている。</li> </ul>
⑤笠松線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 笠松線は、東海駅西口から笠松運動公園を経由し、ひたちなか市内、水戸市内を通り、水戸駅または茨大前営業所を結ぶ路線（2 系統）であり、運行経路は以下のとおりである。 東海駅前（西口）～舟石川～東海橋～内宿入口～大山台～東海団地入口～石神二軒茶屋～舟石川入口～舟石川西～笠松～笠松運動公園前～孫目～（ひたちなか市内）～（水戸市内）～水戸駅北口（片道 17.1km/32 分）～茨大前営業所（片道 22.3km/54 分）</li> <li>・ 平日のみの運行している。</li> <li>・ ダイヤは、東海駅西口から水戸駅北口行が 1 本、茨大前営業所行が 1 本。茨大前営業所発が 2 本（令和 3 年 3 月現在 1 本運休）、水戸駅発が 1 本運行している。</li> <li>・ 村内を運行すると路線バスのうち、唯一村の補助を受けていない路線である。</li> </ul>

交通不便地域指定申請書（別表 7 ハ②（2）関係）  
（地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統確保維持関係）

1. 指定を受けようとする地域名
外宿 1, 外宿 2, 内宿 1, 内宿 2, 竹瓦, 豊岡, 亀下, 白方, 岡, 豊白, 真崎, 村松北, 宿, 川根, 照沼, 原子力機構箕輪 (JR 常磐線東海駅及び茨城交通の路線バス停留所から半径 1 キロメートルの区域を除く)
2. 指定を受けようとする理由
今回, 申請する東海駅東口～茨城東病院線の沿線行政区については, 平成 28 年に交通不便地域の指定を受け, 同年に地域内フィーダー系統確保維持補助金を受け路線バスが運行しているが, 指定期間の満了に伴い, 交通不便地域の指定を改めて申請する必要性が生じた。
3. 指定を受けようとする交通不便地域へ導入する予定のフィーダー系統の概要
茨城交通路線バス 東海駅東口～茨城東病院線
4. 指定を受けようとする交通不便地域の人口
10,327 人（令和 3 年 3 月 31 日時点） 出典：住民基本台帳 ※詳細については別添参照
5. 指定を受けようとする期間
令和 3 年 10 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日
6. 協議会における協議年月日
令和 3 年 6 月 24 日
7. その他特記事項

【添付書類】

- ・ 指定を受けようとする地域を示した地図（導入予定のフィーダー系統及び接続する地域間交通ネットワーク（地域間幹線バス系統、鉄道等）、当該地域内に存在する停留所等を記載してあるもの）
- ・ その他参考資料